



刈谷市コロナ緊急アンケート

飲食店向け 集計結果報告書

[調査期間 2020.05.21 ~ 05.31]

KARIYA Voice

<http://pooh.planet.bindcloud.jp/>



刈谷市内コロナ緊急アンケート

飲食店向け集計結果報告書

1. 本調査について
2. 回答店舗
3. お店の存続見通し
4. 要望支援策
 - その1、その2、 お店の声
5. 刈谷市に対する要望 お店の声
6. 要望事項
 - 6-1. 飲食店支援について
 - 6-2. 資金面以外の要望事項

1. 本調査について

【調査目的】

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ国及び愛知県の緊急事態宣言が解除されました。解除が出て、外出自粛、休業要請・時短により経済活動が大幅に縮小され以前の状態に戻るまでにはかなり時間がかかると言われています。多くの支援が実施されることを期待しておりますが、各店の要望に見合うものばかりではないと思われます。そこで各店のご意見を少しでも刈谷市および議会に届けるためにアンケートを実施いたします。

【調査対象】

- ・ 刈谷市内の飲食店

【調査実施期間】

- ・ 2020年5月20日（水）～31日（日）

【回答数】 41件

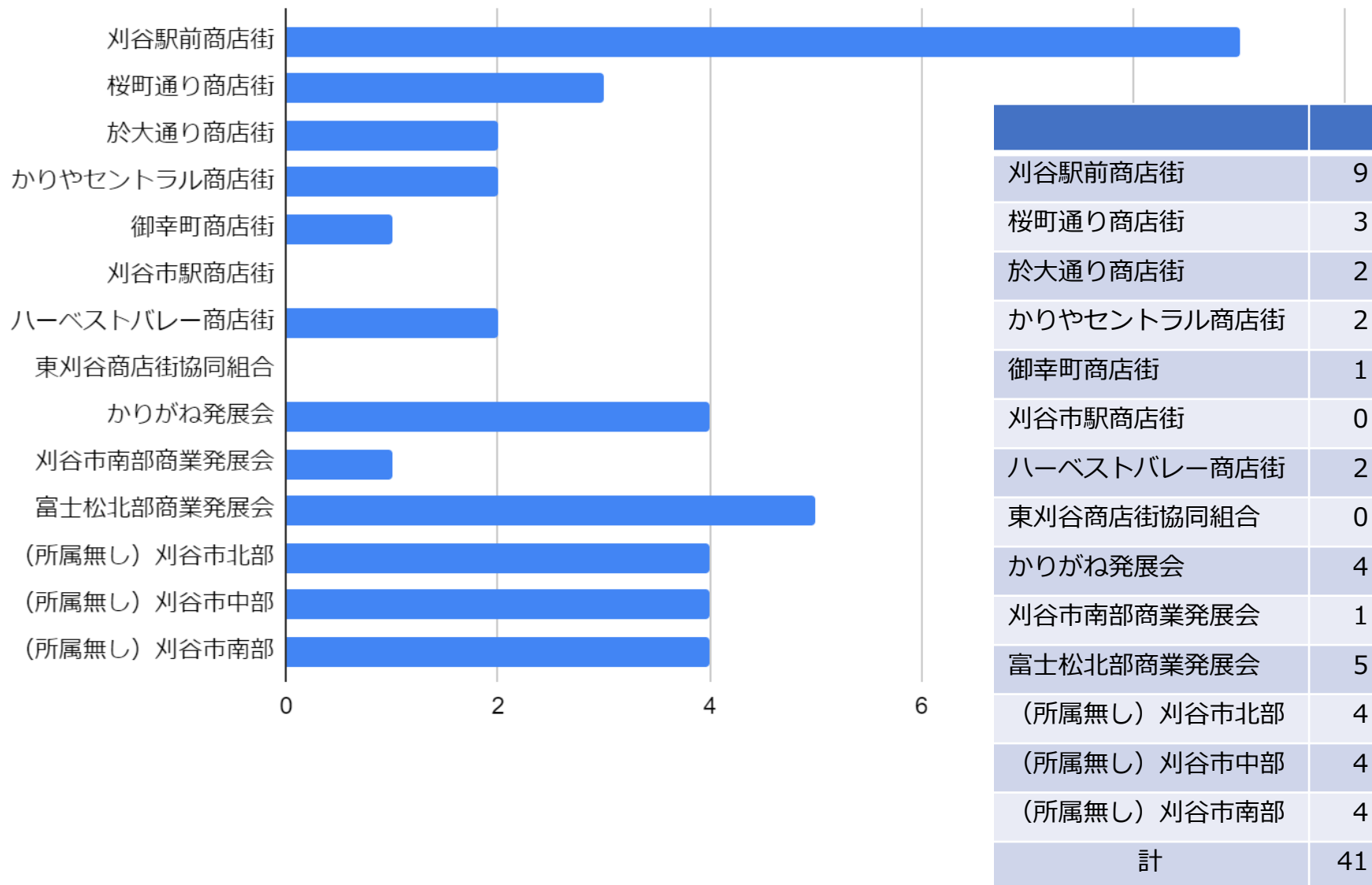
【調査実施主体】

刈谷ボイス（市民活動団体申請中） 主管：かりやなび

【調査協力】

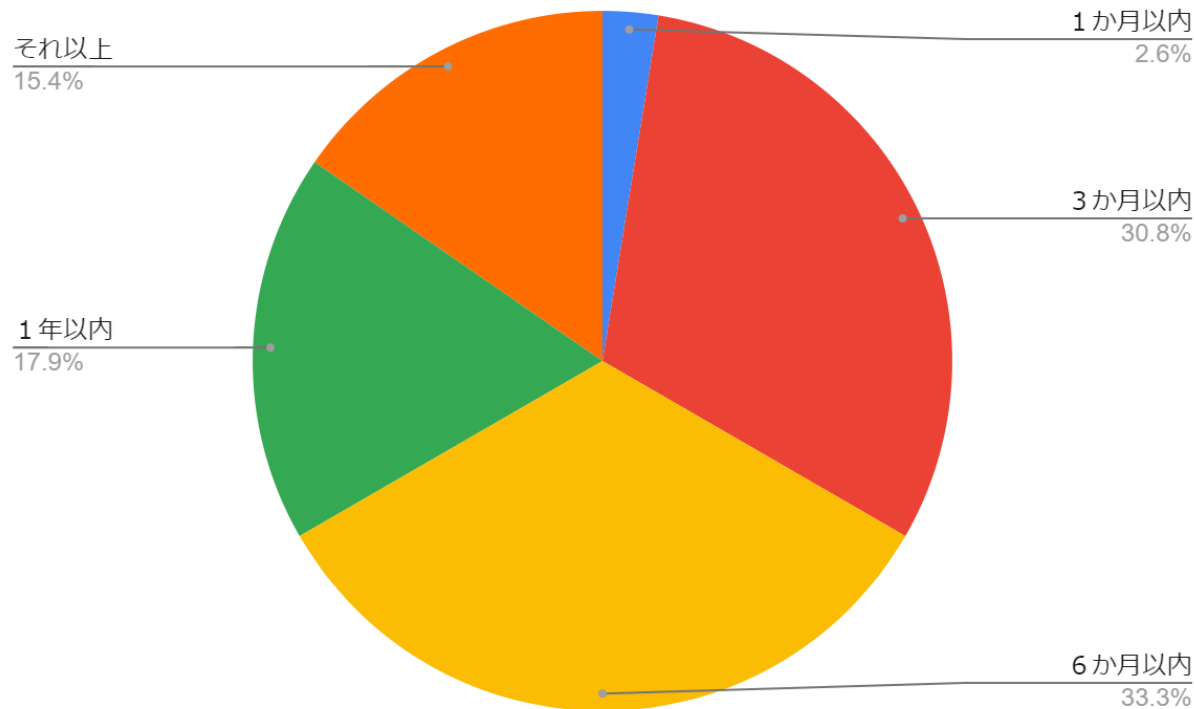
刈谷市商店街連盟 NPO法人まちづくりかりや

2. 回答店舗



3. お店の存続見通し

今の状態（国、県、市からの支援が今の内容のまま）が続いた場合、
お店が存続できる見通しはどれくらいですか？



67%のお店が、
6か月以内と回答

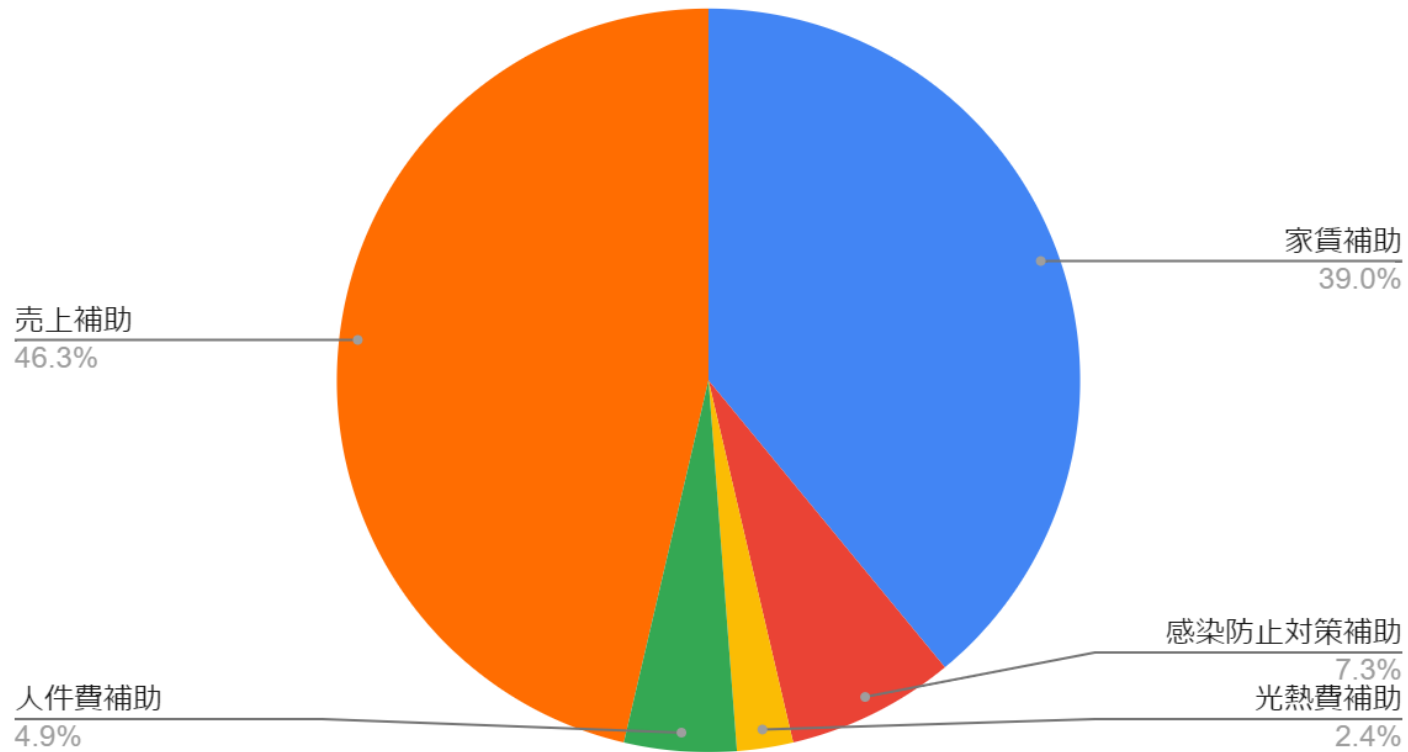
駅前＋桜町通りでは
6か月以内 **83%**



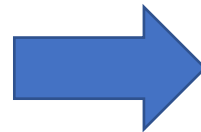
**最低でも年内までの
支援策が必要?!**

4. 要望支援策 その1

1 番に望む支援策は何ですか？



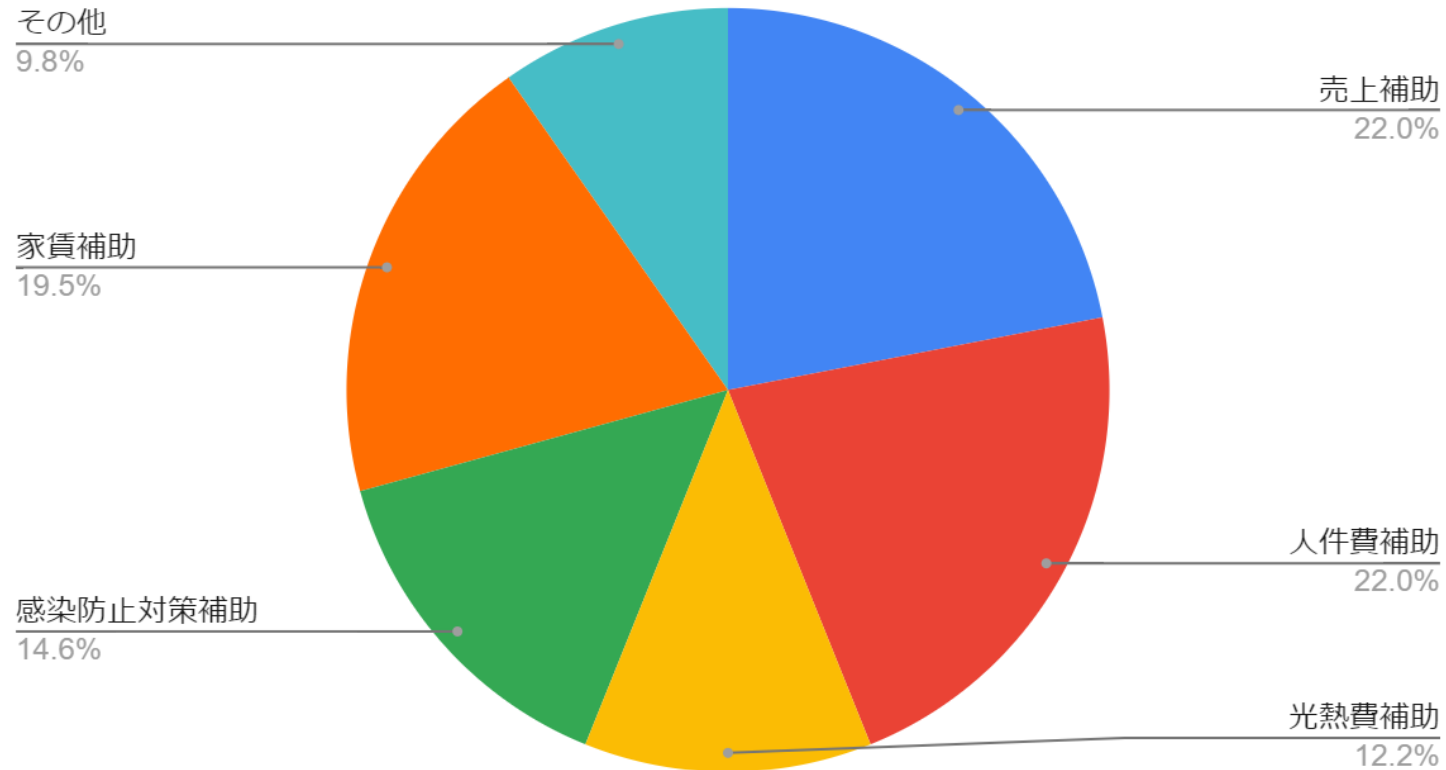
売上補助、次いで家賃補助



**店舗維持のための
現金給付が急務！**

4. 要望支援策その2

2 番目に望む支援策は何ですか？



4. 要望支援策 お店の声

プレミアム商品券は無駄が多いので現金給付にしてほしい。

市県民税、固定資産税など税金の減免。

官民ファンドなどからの資本増強策。

販売促進政策を要望します。

飲食店の営業モデルの提案をしっかりとしてほしい。いつも居酒屋などの小規模クラスの飲食店モデルばかり。当店のような宴会場50や100名入るようなモデルも出してほしい。それによりお客様サイドも利用できるかどうか判断しやすくなるし、こちらガイドラインに沿ってご提案し、お互いが安心して集客に力を注げる。現行そういったものがないので、問い合わせがあっても、ふわっとした回答となり、結果お客様の来店がまだ踏みとどまっていたほうがいいと判断されてしまう。毎日売上が乏しく厳しいです。店を開けていてもコストがかかってしまい、現在も週3日休んでます。

家賃を払っている事業者の救済情報ばかりで不安。自社建物の固定資産税免除やなにか対策してもらえないと固定費の支払いも先行き不透明。なんとか助けてもらいたい。

50人以下の宴会を市として推奨してほしい。

借入金の返済期間延長、税金の免除など。

4. 要望支援策 お店の声

借入金の返済期間延長、税金の免除など。

前年度、売り上げの半分以下の店舗だけでなく、売り上げが少しでも減った店舗にも何らかの補助をしてほしいです。

子ども食事支援活動に支援を希望。

複数店舗を営んでいる事業者への待遇改善。

広告宣伝活動費（資金ではなくお客さんの集客や紹介など）。

売上支援に繋がる飲食店専用大きな割合のプレミアム商品券の発行。

高齢者や障害者の方が飲食店利用の際のタクシーチケット券の無料配布。

テイクアウト用に製作するチラシ広告等の手助けや補助金を願いたいです。

5. 刈谷市に対する要望 お店の声

スピード感を出して欲しい。

休業要請が出ていた全期間の休業補償。

コロナの件で対策をとって頂き心から感謝いたします。僕たち飲食店は笑顔でお店を維持する事が地域の皆様への恩返しだと思ってます。何卒ご協力をお願い申し上げます。

当店はカウンターメインの珈琲専門店なので4月17日(金)に要請を受け速やかに時短営業と椅子を間引いて消毒液を設置、SNSなどで周知いたしました。その後、愛知県、刈谷市の協力金の支給マニュアルが出ました。それによるとAM5時ーPM8時以降の営業店の時短でないと対象外となってしまいました。当店は通常AM9時ーPM7時のところAM9時ーPM5時として営業しましたので、当てはまらないようなので、写真や、確定申告書などすべて市役所に提出しましたが、相手にしてもらえませんでした。会計士に委託して日ごろから、しっかり申告しているにもかかわらず、ほんの60分の時間だけで、線引きしていいのでしょうか？仮にPM6時からPM8時営業の店がPM7時に閉店した場合でも補助が出るようです？それにしても刈谷市は100億近いプール金があると聞きましたが、何もしない市ですね。ちょっとがっかりです。

民間もふくめ色々な補助や施策が結果的に百花繚乱、検討すら負担に。新たな補助などは売上50%減など先の条件にのるような形で申請を簡便に。

みなくなる広場などの利用簡略化。

5. 刈谷市に対する要望 お店の声

簡潔な手続きによる迅速な支援。

家賃補助の件よろしくお願いします。

法人税など色々な税金の免除。

直ぐにお客様が戻る訳ではないので休業協力金支援策をもう少し続けていただければ助かります。

刈谷市で商売をしていて良かったと思える政策の実施を期待しています。早い対応と希望がもてる支援策。

食品を売る機会を増やしてほしい。

2020年4月から開業しましたが、OPENからまともな広報活動ができていません。情勢が戻ってきたら広報活動に力を入れたいと思っています。ご支援いただけることがあればありがたいと思っています。

簡潔な手続きによる迅速な支援。

家賃補助の件よろしくお願いします。

厳しい状況ではありますが、できる限り努力致します。

50人以下の宴会の推奨。

5. 刈谷市に対する要望 お店の声

テイクアウトやデリバリーをやっている事を広げてもらえると助かります。特に、大きな企業にはアプローチがかけにくいのでそこに対する情報拡散の援助をできるのであればお願いしたいです。

色々な市町村でスピード感ある支援がなされる中、刈谷市は全てに於いて消極的かつ遅い！半端な城やらTシャツやら市民が納得いく施策なされていない感が強い。稲垣市長のリーダーシップを全く感じられず、不信感が募っています。市民の不満に気付かずお役所仕事するならば刈谷市はバカにされるでしょう。

固定費の中で人件費に関しては雇用調整助成金があるので、家賃補助をして頂けると大変助かります。よろしくお願い致します。

やる事が遅い、城の予算吐き出して欲しい。

駅前や中心部の対策が多くうらやましい。市役所にお弁当の提案も資料見たりしたけど、北部から数個配達は割にあわない。中心部だけでなく全域をみてほしい。本当にお願ひします。

6. 要望事項

1. 飲食店支援について

- ・ 飲食店は、単に一民間の店舗ではなく、まちにとって欠かせない存在だと思います。生活必需とまでは、言えなくても、家族などの団らん等生活の中では充分必要な場だと思います。
- ・ 特に刈谷駅前の飲食店街は、刈谷の大きな魅力のひとつになっています。
リーマンショック後に商店街の危機感から「カリアンナイト」は生まれました。その後年2回休みなく開催され、時には市のイベントにも協力してきました。他市からの大手チェーン店の進出などもあり、それまで人出の少なかった土日も若い人や家族層も市外からも来るようになりました。
とりわけ周囲の大企業にとってはやすらぎの場でもあり、明日の活力の場でもあります。
刈谷駅前の路線価の上昇にも少なからず貢献していると思います。
飲食店の衰退は、結果市民にとっても楽しみの場を失くし、刈谷市の大きな特色を消すことになります。
いったん消えたまちの魅力を戻すのは簡単ではありません。
- ・ 調査結果にあるように、この6か月が各店舗にとっても存続の分かれ目であると判断します。
- ・ 元の形には戻れない、新しいスタイルが定着するまで、バランスの良い支援策をスピード感をもって、実施していただけることを切に望みます。

6. 要望事項

2. 資金面以外の要望事項

※アンケートでは主に資金面での支援策でしたが、下記のような案も速やかに検討実施を望みます。

(1) プレミアム食事券

- ・例年のプレミアム商品券では、大規模店や物販日用品などに使われるため、碧南市のような思い切ったプレミアム食事券の実施を早急に望みます。

(2) デリバリーの範囲の拡充

- ・刈谷市庁舎で始まるデリバリーを、市内全域に拡充を早急をお願いします。南部、北部の配達のコムスなどを使い、駅周辺は観光案内所の電動サイクルの活用や、タクシー会社との連携によるデリバリーの実施も進めます。これらは将来の買い物弱者対策にもつながります。
- ・市の出先機関や周辺の市民センター等のほうがデリバリーニーズもあります。
- ・大学生協との連携や、大企業グループにも期間限定でデリバリー注文および構内販売の協力をお願いします。

(3) 感染症対策飲食店支援プロジェクト

- ・「神奈川モデル」を参考に、感染症対策をしている店舗に市からの証明書を発行し、店舗入り口に貼ることで、客は安心して入りやすく、証明書のQRから店舗の評価をしてもらいます。市は「あいかり」や広報ビジョン等を活用して感染症対策店舗としてお店を大々的にPRします。大企業にも利用クーポンなどの発行協力、市民だよりにクーポン券をつける等、お店に足を運ぶ機会を市も協力してつくります。感染症対策店舗には、対策支援金をだします。きちんと対応している店には支援することになり持続可能な形がみえてきます。

KARIYA Voice

【刈谷市コロナ緊急アンケート 飲食店向け集計結果報告書】

2020年6月

刈谷ボイス（市民活動団体申請中）

主管：かりやなび（村井弘二）

伊田昭三 安部 真 他